

R 8 年 4 月放送分  
「政策広報について」  
(日本の防衛 Q & A)  
(自衛隊百科)

R8. 3. 24 収録

【パーソナリティー】

本日は、「政策広報について」をテーマに、東北防衛局から 2 名の職員の方にお越しいただきました。よろしくお願いいたします。

【虻川・高橋】

よろしくお願いいたします。

【パーソナリティー】

はじめにお 2 人の自己紹介をお願いします。

【虻川】

はい、地方協力確保室で補佐をしている秋田県大館市出身の虻川です。昨年 5 月の放送以来の出演となります。よろしくお願いいたします。

【高橋】

はい、同じく地方協力確保室の高橋です。採用 7 年目で、昨年度から政策広報業務を担当しています。出身は雄大な岩手山を望み、温泉地や紅葉の名所としても知られる岩手県八幡平市です。本日はよろしくお願いいたします。

【パーソナリティー】

こちらこそ。それでは、今回のテーマである政策広報について、お話をお願いします。

【虻川】

はい。

昨年 7 月に当局報道官から「東北防衛局の広報紙について」をテーマに放送させていただきました。このほかの広報活動として私ども地方協力確保室は大きく 5 つの政策広報に取り組んでいます。

1つ目としまして、防衛白書の説明。  
2つ目は駐屯地等での東北防衛局のブース出展。  
3つ目は防衛セミナーの開催。  
4つ目は講師派遣。  
5つ目は何と云ってもこのコミュニティFMを活用したラジオによる広報です。

**【パーソナリティー】**

内容は多岐に渡っているのですね。

1つ目の防衛白書の説明は、毎年、局長からこのラジオ番組を通じてご説明を頂いていますが、他にはどのように行っているのですか？

**【虻川】**

はい、ラジオだけでなく、東北管内約260の地方公共団体等の首長等に対し説明を行っています。

**【パーソナリティー】**

約260もの団体に説明しているのですか！？

**【虻川】**

はい、局長から各県知事へ説明し、当局の部長や各県地方協力本部長等から市町村長へ説明を実施しています。もちろん都合がつかないところは郵送等もありますが、基本的に、防衛白書を直接お渡しして説明しています。

**【パーソナリティー】**

直接説明されているのですね。丁寧に地元対応をしている東北防衛局の地道な活動が伝わってきます。

では、2つ目の駐屯地等へのブース出展は高橋さんからお願いします。

**【高橋】**

はい。主に航空祭や駐屯地記念行事でブースを出展しますが、そこでは防衛白書のパネルを並べて白書クイズを実施しています。

また、東北防衛局の広報紙「東北のかなめ」や防衛省や防衛局の採

用パンフレットのほか、戦闘機や戦車などのポストカードや缶バッジもお配りしています。

なお、当局のSNSアカウントをフォローいただいた方には、その場で自衛隊キャラクターのメモ帳などのグッズをプレゼントしています。

昨年度、私が参加した三沢基地航空祭では約830名もの方々にブースへ足を運んでいただきました。私としても多くの方々と接することができ非常にやりがいを感じました。

#### 【パーソナリティー】

リスナーの方から「東北内のイベントがあれば身近に感じる」との意見が寄せられています。今後のブース出展の計画がありましたら教えてください。

#### 【高橋】

はい、令和8年度の計画は、4月19日に山形県にある神町駐屯地の創立記念行事、5月5日に山形市で開催される「スプリングフェスティバル はたらくくるま大集合」、6月21日に青森県リンクステーションホール青森で行われる「自衛隊音楽隊合同演奏会」のほか、青森県の三沢基地航空祭や宮城県の松島基地航空祭へブースの出展を予定しています。

#### 【パーソナリティー】

リスナーの皆さん、是非、足を運んでみてはいかがでしょうか。

特に6月21日の青森での合同演奏会では、特別ゲストの出演があったり、音楽隊の活動を通じた自衛隊の魅力にせまるような沢山の工夫がされると伺っておりますので、是非「自衛隊青森地方協力本部」で検索してみてください。

次に、3つ目の防衛セミナーの開催についてお願いします。

#### 【高橋】

はい。防衛セミナーは、防衛省の政策や自衛隊の活動を地域の方々に知っていただくため実施しているもので、東北防衛局では、平成19年度に宮城県仙台市で開催して以来これまでに48回、東北各県において実施しています。

【パーソナリティー】

最近では、どのようなセミナーを実施しましたか？

【高橋】

はい。昨年10月に青森県八戸市で開催した防衛セミナーでは、元統合幕僚長の山崎幸二様を講師としてお招きし、「日本の安全保障の現状と今後の課題」をテーマに、現在の日本を取りまく安全保障状況等について、ご自身の経験談も交えながら分かりやすく講演をいただきました。

また、今年1月には宮城県仙台市で、防衛大臣科学技術顧問であり東北大学名誉教授の前川禎通様を講師としてお招きし、「科学技術と防衛」をテーマに、科学技術が防衛政策や防衛産業とどのように関係しているのかを解説していただきながら講演をいただき、それぞれ好評を得たところです。

【パーソナリティー】

非常に興味深い内容のお話を聞くことができるんですね。

リスナーの方からも「セミナー参加者の声を聞いてみたい」との声がありましたので、少し紹介して頂けますか？

【高橋】

はい。八戸市のセミナー来場者からは、「激動する国際情勢、そして戦後最も厳しい安全保障環境に直面した現在の日本、隣国の詳細をより深く伺う事ができ大変ありがたかった」、「ロシア、中国、北朝鮮の脅威について非常に分かりやすく講義してもらい勉強になった」との感想が寄せられました

仙台市のセミナー来場者からは、「テレビや新聞ではなかなか目にすることがない、日本の科学技術の現状を学べた」、「科学技術研究の重要性と防衛省との関係性について理解できた」といった感想が寄せられました。

【パーソナリティー】

貴重なご意見がたくさんあったんですね。

この講演の様子は、順次、防衛省 YouTube チャンネルに掲載される

そうなので、ご興味のある方は是非ご視聴ください。

**【高橋】**

東北防衛局としましては、セミナーへの更なる参加者の拡充に取り組んでいるところ、少しでも皆様が興味、関心のある内容に近づけるため、テーマについて、当局のホームページで意見を募集しています。

**【パーソナリティー】**

リスナーの皆さん、この機会に聞いてみたいテーマや開催場所について防衛局のホームページを通じて意見を出してみたいかでしょうか。

それでは、4つ目の講師派遣について虻川補佐からお願いします。

**【虻川】**

はい。東北防衛局では、日本の防衛政策や自衛隊の災害派遣など、各種防衛行政について、東北各地に講師を派遣しております。

令和7年度の講演では、「防衛白書」や「施設整備」をテーマに依頼があり、池松局長をはじめ、吉田調達部長や榮森企画部次長が講演を行いました。

**【パーソナリティー】**

実際に講師派遣を依頼したい場合はどうすればよいのでしょうか。

**【虻川】**

はい。講師派遣依頼はいつでも受付しておりますので、東北防衛局地方調整課地方協力確保室までお問い合わせください。

なお、当局ホームページの広報・イベント欄に過去の講師派遣実績を掲載しておりますので、そちらもご参考にいただければと思います。

**【パーソナリティー】**

最後に5つ目の取組である、このラジオについてお話し頂けますか。

**【虻川】**

はい、昨年5月の放送に出演した時のことですが、私の妻が知り合いから「あんたの旦那さん、ラジオでしゃべってらっけよ。」と言われたそうで、SNSの時代が来てもラジオの力は大きいなぁと感じました。

東北防衛局としましては、引き続きこのラジオの力を最大限活用させていただきたいと考えております。リスナーの皆様を大切に、昨年策定した「東北防衛局が送るラジオ番組「日本の防衛Q&A」に関する基本方針」の下、東北防衛局を知っていただき、そして防衛政策等について幅広い層への理解増進を図って参ります。

**【パーソナリティー】**

本日は、政策広報について、虻川補佐と高橋さんにお話をお聞きしました。ありがとうございました。

**【虻川・高橋】**

ありがとうございました。

**【パーソナリティー】**

このコーナーでは、よりよい内容にしていくため、ラジオをお聞きの皆さまからご意見・ご感想を募集しております。お聞きのコミュニティ放送局までご連絡ください。